

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：中小企業振興費

事業名 ソフトピアジャパンセンター修繕工事費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業技術課 IT拠点活用推進係 電話番号：058-272-1111 (内 3051)

E-mail： 11352@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 459,522 千円 (前年度予算額：154,489 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄 附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	154,489	0	0	0	0	0	0	137,100	17,389
要求額	459,522	0	0	0	0	0	0	0	459,522
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

ソフトピアジャパンセンタービルは竣工より26年、ドリーム・コアは22年、ワークショップ24は20年、アネックスは24年経過しており、経年劣化等に伴う設備の更新及び修繕が必要となっている。平成18年度よりセンタービル及びドリーム・コアで、平成25年度よりワークショップ24で指定管理制度を導入している。

(2) 事業内容

①センタービル、ドリーム・コア、ワークショップ24及びアネックス修繕工事にかかる経費

- ・ソフトピアジャパン・センタービル ソピアホール設備機器改修
- ・ソフトピアジャパン・センタービル照明器具 (一般照明等) 更新
- ・ソフトピアジャパン・センタービル空調制御装置部分更新
- ・ソフトピアジャパン・センタービル中央監視装置更新
- ・ソフトピアジャパン・ドリーム・コア照明器具更新
- ・ソフトピアジャパン・ワークショップ24電力量計更新
- ・ソフトピアジャパン・センタービル障がい者用トイレ自動ドア修繕
- ・ソフトピアジャパン・センタービル監視カメラ記録装置等改修
- ・ソフトピアジャパン・ワークショップ24ソピア・キャビン空調機更新

②アネックス修繕工事にかかる経費（大垣市への負担金）

- ・非常用直流電源装置用鉛蓄電池取替工事、吸収式冷温水発生機（2基）電装部品交換、冷水・温水1次ポンプOH（各2台）、中央監視保護用UPS本体交換の負担金

③ソフトピアジャパン・センタービル設備改修にかかる委託費

- ・センタービル空気調和機（エアハンドリングユニット等）更新基本設計
- ・センタービル熱源設備（水冷スクルーチラー）実施設計
- ・ソフトピアジャパン・ドリーム・コア熱源設備・空調設備改修基本設計
- ・岐阜県県有建物長寿命化計画（4施設分）更新
- ・センタービル屋上機械室防水改修実施設計
- ・センタービル自動火災報知設備総合操作盤調査

（3）県負担・補助率の考え方

センタービル、ドリーム・コア及びワークショップ24の施設修繕については、ソフトピアジャパンセンター及び県営住宅ソピア・フラッツ指定管理者（以下、ソフトピア指定管理者）と締結している管理運営協定により費用負担区分を規定。

アネックスは、大垣市情報工房との合築施設であるため、県・大垣市・ソフトピア指定管理者・大垣市情報工房指定管理者の4者にて協定を締結し、施設修繕にかかる修繕区分を規定（但し、県専有部はセンタービル等と同様の扱い）。

①センタービル、ドリーム・コア、ワークショップ24部分

- ・1件につき60万円未満の修繕：ソフトピア指定管理者が負担
- ・1件につき60万円以上の修繕：岐阜県が負担

②アネックス部分

- ・1件につき60万円未満の修繕：ソフトピア指定管理者と大垣市情報工房指定管理者で案分して負担
- ・1件につき60万円以上の修繕：岐阜県と大垣市で案分して負担。

3 事業費の積算内訳

(千円)

工事請負費	ソフトピアジャパン・センタービル ソピアホール設備機器改修	65,000
	ソフトピアジャパン・センタービル照明器具更新[一般照明等]	156,000
	ソフトピアジャパン・センタービル空調制御装置部分更新	30,800
	ソフトピアジャパン・センタービル中央監視装置更新	79,120
	ソフトピアジャパン・ドリーム・コア照明器具更新	8,000
	ソフトピアジャパン・ワークショップ24電力量計更新	10,000
	ソフトピアジャパン・センタービル監視カメラ記録装置等改修(R3未実施分)	26,727

	ソフトピアジャパン・センタービル障がい者用トイレ自動ドア修繕【長寿命化外】(R3 未実施分)	2,151
	ソフトピアジャパン・ワークショップ2 4 ソピア・キャビン空調機更新 (R3 未実施分)	17,704
負担金	ソフトピアジャパン・アネックス修繕工事負担金【長寿命化外】	3,986
委託料	ソフトピアジャパン・センタービル空調和機(エアハンドリングユニット等)更新基本設計	39,000
	ソフトピアジャパン・センタービル熱源設備(水冷スクルーチラー)実施設計	5,100
	ソフトピアジャパン・ドリーム・コア熱源設備・空調設備改修基本設計	12,000
	岐阜県県有建物長寿命化計画(4 施設分)更新【長寿命化外】	2,189
	センタービル屋上機械室防水改修実施設計(R3 未実施分)	1,045
	センタービル自動火災報知設備総合操作盤調査【長寿命化外】(R3 未実施分)	700
合 計		459,522

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

II ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

1 モノをつくって、地域外からお金を稼ぐ地域をつくる

◆ソフトピアジャパンのIT関連企業の集積や優れた情報基盤を活用し、地域産業の高度化を担う産業人材を育成・供給し、地元のIT企業の競争力を強化する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 経年劣化等に伴う設備の更新及び修繕が年々増加している中、法令遵守、安全確保、不具合時の利用者影響度などから優先順位を付け設備の更新や修繕を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	達成率
		実績	目標	目標	(R6)	
ソフトピア ジャパンセン ター入居施設 入居率 [課内指標]	センタービル、 アネックス及び ドリーム・コア 62.7%(H17)	75.0% (R3.4.1 現在)	80.0% (R4.4.1 時点)	80.0% (R5.4.1 時点)	80.0% (R7.4.1 時点)	93.8%
	ワークショップ24 54.1% (H25.3)	入居施設入居率 80%維持を目標				

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・法令等の遵守、入居企業等の活動を支えるために必要な設備修繕（下記参照）を行うことで、安全安心して利用できる施設を提供してきた。そのことがIT関連企業の入居促進や、施設の貸出利用に繋がった。</p> <p><修繕内容></p> <p>（1）工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ソフトピアジャパン・センタービル 冷温水発生機更新、送風機更新、天井照明修繕 冷温水ポンプ及び冷却水ポンプ更新 ○ソフトピアジャパン・ワークショップ24 中央監視装置関係機器更新 <p>（2）大垣市への負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連結送水管漏水修繕、非常用自家発電装置修繕の負担金
-------	---

令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	入居者及び利用者に不利益を与えないよう、不断の施設維持が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	必要最低限の修繕により施設の維持管理を行っている。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	中長期保全計画を作成し、また、指定管理者と連携を密にとり、優先順位の高く必要な修繕を実施し、経費の節減を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 中長期保全計画で策定した修繕は、大規模な修繕を中心に先送りされ、機能維持が難しい設備も出てきており、待ったなしの段階である。施設運用面での課題や大規模設備の状況把握を行い、計画的に施設運営や修繕を実施する必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 施設の利用率や不具合の影響度などから優先順位を決め、順に維持する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	